

新内科学大系

13

神経疾患VI



新内科学大系

13

神経疾患VI



山	阪	織	東	黑	九	三	慶	山	東	中	自	吉	東
村	大	田	大	岩	大	辺	大	形	北	尾	治	利	大
雄	教	敏	教	義	教	謙	教	敵	大	喜	医	大	名
一	授	次	授	五	授	一	授	久	学	和	大	学	誉
				郎					長				教

〈監修〉

1978年3月25日



中山書店

卷00全
〈5年巻〉巻00

新内科学大系

1975年5月26日 第1刷発行

換印省略

新内科学大系 (全60巻)
Handbook of Internal Medicine
(Shin-Naikagaku Taikci)

第13巻《神経疾患VI》C

監 修

吉 利 和
中 尾 喜 久
山 形 敏 一
三 辺 謙
黒 岩 義 五 郎
織 田 敏 次
山 村 雄 一

発 行
発行所

中 山 三 郎 平
株式会社 中 山 書 店

〔製作〕 株式会社 中山・新内科学大系刊行部
東京都文京区本郷3の14の10(泰生ビル)
TEL. 813-1101 (代表) 郵便番号113
〔販売〕 東京都文京区本郷3の6の12(太平ビル)
TEL. 815-0677 (代表) 郵便番号113
〔取引〕 東京都千代田区神保町2の24
TEL. 263-5511 振替東京196565 郵便番号101

印刷/三松堂印刷株式会社・凸版印刷株式会社 製本/松岳社青木製本所
用紙/三菱製紙株式会社 表紙/ダイニック株式会社

3347-211901-5612

系大学林内



IV 患疾孫林

東女医大教授 鎮目和夫
山形大教授 石川三誠
東大講師 鈴木秀郎
慶大助教授 土屋雅春
愛媛大教授 国府達郎

〈編集〉

〈封蓋〉

古書山中

＜監修協力＞

和 田 武 雄

慈大教授

上 田 泰

名大名譽教授

国立名古屋病院院長

日 比 野 進

京府医大教授

增 田 正 典

東医歯大教授

武 内 重 五 郎

新大教授

木 下 康 民

岡大教授

小 坂 淳 夫

長大教授

高 岡 善 人

熊大教授

德 臣 晴 比 古

<顧問>

第13卷

神 經 疾 患 VI

著 者

鹿大教授	井 形 昭 弘	鳥大教授	下 田 又 季 雄
九州厚生年金病院 部長	梅 崎 博 敏	帝京大教授	鈴 木 淳 一
都神経科学総合研 副参事研究員	高 橋 康 郎	和歌山医大教授	藤 田 拓 男
北大教授	諏 訪 望	愛媛大教授	柿 本 泰 男
自治医大助教授	宮 武 正	九大講師	竹 下 司 恭
阪大助教授	垂 井 清 一 郎	東大講師	鬼 沢 仁 一
東大助教授	和 田 攻	東大内科	寺 尾 寿 夫
群大教授	平 井 俊 策	都老人総合研 臨床病理室長	朝 長 正 徳
広大教授	鬼 頭 昭 三	東邦大教授	里 吉 營 二 郎
東北大教授	吉 永 馨	名大講師	高 橋 昭
東大講師	三 上 理 一 郎	阪医大教授	茂 在 敏 司
秋大教授	東 音 高	帝京大助教授	稲 葉 午 朗

(執筆順)

本巻の協編

九大助教授 後 藤 幾 生

目次

I. 自律神経疾患

井形昭弘

A. 総論	3
1. 自律神経系	3
2. 自律神経系の解剖	3
3. 末梢自律神経の組織学	4
4. 自律神経中枢	5
5. 視床下部	5
6. 大脳皮質	6
a. 大脳辺縁系	7
b. 脊髄中枢	7
7. 総合的生体調節と自律神経	7
8. 自律神経剤の基礎	9
9. 交感神経刺激剤	10
a. 副交感神経遮断剤	10
b. 交感神経遮断剤	10
c. 神経節遮断剤	11
B. 自律神経異常	12
1. 起立性低血圧	12
a. 定義	12
b. 発生病理	12
c. 臨床症状	12
d. 検査成績	13
e. 治療	13
2. Shy-Drager 症候群	13
a. 概念	13
b. 臨床症状	13
c. 病理所見	14
d. 診断	14
e. 治療	14

3. 頸動脈洞症候群	14
a. 概 念	14
b. 發生病理	14
c. 臨床症狀	15
d. 治 療	15
4. Riley-Day 症候群	15
a. 定 義	15
b. 歷 史	16
c. 臨床症狀	16
d. 病理所見	16
e. 治 療	17
5. lipodystrophia progressiva	17
a. 定 義	17
b. 臨床症狀	17
c. 發生病理	17
d. 治 療	17
6. 進行性顏面半側萎縮症	17
a. 定 義	17
b. 歷 史	18
c. 頻 度	18
d. 臨床症狀	18
e. 發生病理	18
f. 治 療	19
7. 發汗異常	19
a. 多 汗 症	20
b. 無 汗 症	20
8. causalgia	21
a. 定 義	21
b. 歷 史	21
c. 發生病理	21
d. 臨床症狀	22
e. 治 療	22
9. Adie 症候群	23
a. 定 義	23
b. 發生病理	23

c. 臨床症状	23
d. 鑑別診断	23
e. 治療	23
10. 自律神経失調症	23
a. 概念	23
b. 臨床症状	24
c. 診断	25
d. 治療	25
11. 特発性食道拡張症	25
a. 概念	25
b. 歴史	25
c. 病態生理	25
d. 臨床症状	26
e. 諸検査成績	26
f. 鑑別診断	27
g. 治療	28
12. 間脳症	28
a. 定義	28
b. 臨床症状, 精神症状	29
c. 発生病理	29
d. 治療	29
13. Raynaud 病	29
a. 定義	29
b. 発生病理	30
c. 臨床症状	30
d. 治療	30
14. 白ろう病	30
a. 概念	30
b. 発生病理および病因	30
c. 臨床症状	31
d. 検査所見	31
e. 治療	31

II. 発作性律動異常 (てんかん)

下田又季雄

1. てんかんの定義と正しい概念規定	37
--------------------	----

a. 定義について	37
b. 正しい概念規定	37
2. 歴 史	39
3. 分類と頻度	40
a. 分 類	40
b. 出現頻度	43
4. 病 因 論	43
5. 病理（病理組織と病態生理化学）	44
a. 病理解剖	44
b. 症状発現の病態生理化学	45
6. 脳 波	46
7. 臨床症候	48
a. 発作症候	49
b. 間欠期症候	61
c. 経過および予後	63
8. 診 断	64
a. 診断順序	64
b. 鑑別診断	65
9. 治 療	67
a. 薬物療法	68
b. 一般的摂生と生活指導	69

III. その他の機能的発作性症候群

A. 頭 痛	梅崎博敏	73
1. 概 念		73
2. 頻 度		73
3. 病態生理		73
4. 診 断		75
a. 家族歴		76
b. 既往歴		76
c. 頭痛についての問診		76
5. 分 類		77
a. 血管性頭痛		78
b. 筋攣縮性頭痛		78

c. 混合性頭痛	79
d. 頭蓋内外の器質性病変による頭痛	79
e. 眼, 耳, 鼻, 歯, 頸部などの疾患による頭痛	79
f. 心因性頭痛	79
g. 頭蓋の神経痛あるいは神経炎による頭痛	79
6. 治療	80
a. 偏頭痛型血管性頭痛の治療	80
b. 非偏頭痛型血管性頭痛	81
付. 筋攣縮性頭痛	81
a. 症状	82
b. 治療	82
c. 予防	82
B. 偏頭痛	梅崎博敏 84
1. 概念	84
2. 分類	84
3. 病態生理	84
4. 遺伝要因	86
5. 症状	86
a. classic migraine	86
b. common migraine	87
c. cluster headache	89
d. hemiplegic migraine	90
e. ophthalmoplegic migraine	90
f. lower half headache	91
6. 偏頭痛の脳波	91
7. 治療	92
a. 薬物療法	92
b. 外科的療法	93
C. Ménière 症候群 (Ménière 病を中心に)	鈴木淳一 96
1. 定義	96
2. 歴史	96
3. 分類	96
4. 病因論	97
5. 病理組織	97

6. 統計的事項	97
7. 臨床症状	98
a. 自覚症	98
b. 他覚症	99
c. 病型	99
d. 検査所見	100
8. 診断および鑑別診断	104
9. 合併症, 予後, 経過	104
10. 治療, 予防	105
D. ナルコレプシー	高橋康郎 108
1. 概 念	108
2. 歴 史	108
3. 分類・病型	110
4. 病 因 論	111
5. 病態生理	112
6. 病理組織	114
7. 発生率, 男女差	114
8. 臨床症状	115
a. 睡眠発作	116
b. 脱力発作	116
c. 入眠時幻覚	117
d. 睡眠麻痺	117
e. 夜間熟眠困難	117
f. その他の精神身体症状	117
9. 検査所見	118
10. 診断および鑑別診断	119
11. 合 併 症	119
12. 経過, 予後	120
13. 治 療	120
E. 周期性傾眠症 (Kleine-Levin 症候群)	高橋康郎 128
1. 概 念	128
2. 歴 史	128
3. 分 類	129
4. 病因, 病態生理	129

5. 臨床統計	130
6. 臨床症状	131
a. 前駆期	131
b. 傾眠期	132
c. 反跳期, 回復期の症状	133
d. 間欠期	133
e. 傾眠発作の間隔	133
7. 臨床検査所見	135
8. 診断および鑑別診断	138
9. 経過, 予後	139
10. 治療, 予防	139
F. テタニー	藤田拓男 143
1. 定義	143
2. 歴史	143
3. 分類	144
4. 病因論, 病態生理	145
5. 疫学的事項, 発生率	146
6. 臨床症状	147
a. 自覚症	147
b. 他覚症	147
7. 検査所見	147
8. 治療	148
IV. 神経症, 心因性の神経障害	諏訪 望
1. 神経症と神経疾患	153
2. 神経症の病因と概念	153
a. 心因について	153
b. 心因反応と神経症の分類	155
3. 神経疾患との関連における神経症の問題	156
a. 神経疾患にみられる精神症状	156
b. 臨床的に問題となる状態像	157
4. 心因性チックと心因性斜頸	159
a. チックおよび斜頸の本態に関する考え方	159
b. 心因性チック	160

c. 心因性斜頸	163
----------	-----

V. 先天性代謝異常

A. アミノ酸代謝異常	柿本泰男	171
1. 症 状		174
2. 診 断		175
3. 疾患分類		175
4. 遺 伝		176
5. 治 療		176
B. 脂肪代謝異常	宮武 正	178
1. Bassen-Kornzweig 症候群		178
a. 定 義		178
b. 歴 史		178
c. 病態生理および病因論		178
d. 病理組織		179
e. 疫学的事項		179
f. 臨床症状		179
g. 検査所見		180
h. 診 断		180
i. 治 療		180
2. Niemann-Pick 病		181
a. 定 義		181
b. 分 類		181
c. 歴 史		181
d. 病 因 論		181
e. 病理組織		182
f. 臨床症状		182
g. 診 断		183
h. 治 療		183
3. Gaucher 病		183
a. 定 義		183
b. 歴 史		183
c. 病態生理および病因論		183
d. 病理組織		184
e. 臨床症状		184

f. 検査所見	185
g. 診 断	185
h. 治 療	185
4. Fabry 病	185
a. 定 義	185
b. 歴 史	185
c. 病 因 論	186
d. 病理組織	187
e. 臨床症状	187
f. 診 断 法	188
g. 治 療	188
C. プリン体代謝異常 (Lesch-Nyhan 症候群)	192
1. 定 義	192
2. 歴 史	192
3. 分 類	192
4. 病因論, 病態生理	192
5. 病理組織	194
6. 疫学的事項, 発生率, 統計的事項	194
7. 臨床症状	194
a. 症 候	194
b. 検査所見	195
8. 診断および鑑別診断	195
a. 診 断	195
b. 鑑別診断	195
9. 合 併 症	196
10. 経過, 予後	196
11. 治療, 予防	196
D. 含水炭素代謝異常	198
1. 中枢神経系のエネルギー代謝と低血糖症候群	199
a. 中枢神経系の絶食時におけるエネルギー代謝	199
b. アセトン体の動態にもとづいた低血糖症候群の分類	200
2. 骨格筋のエネルギー代謝と解糖異常	203
a. 骨格筋の運動エネルギー	203
b. 骨格筋の解糖異常	204